

科目別シラバス

科 目	講義形式	時間	学 習 内 容
1.職務の理解 講義	講義	6時間	研修に先立ち、これから介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境、形、仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。
2.介護における尊厳の保持・自立支援	講義	9時間	介護職が利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解する。
3.介護の基本	講義	6時間	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気付き、職務におけるリスクとその対応策のうち、重要なものを理解する。また、介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から捉えることができる。
4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携	講義	9時間	介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務を理解する。
5.介護におけるコミュニケーション技術	講義	6時間	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取る事が専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する。
6.老化の理解	講義	6時間	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気付き、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。
7.認知症の理解	講義	6時間	介護において認知症を理解することの必要性に気付き、認知症利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。
8.障害の理解	講義	3時間	障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。
9.こころとからだのしくみと生活支援技	講義 演習	75時間	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全なサービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。また、尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の住宅・地域での生活を支える介護技術や知識を習得する。
10.振り返り	講義	4時間	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習する姿勢の形成、学習課題の認識を図る。